

令和6年度 特別の教育課程の編成の方針について

茨城県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
鹿嶋市立中野東小学校（外10校）	鹿嶋市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程の編成の方針に係る公表に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針に係る公表ウェブサイト名・URL 等
鹿嶋市立中野東小学校	https://x.gd/NhLjD

2. 特別の教育課程を開始又は変更した年度（特例の適用開始日）

2007年4月
2018年4月 変更

* 取組の期間

2030年4月まで

3. 特別の教育課程の概要、特別の教育課程を編成する際の各教科等の授業時数

急速なグローバル化の進展の中で、英語力の一層の充実は我が国にとって、極めて重要な問題であり、国民一人一人にとって、異文化理解や異文化コミュニケーションはますます重要になる。その際、国際共通語である英語力の向上は日本の社会にとって不可欠である。これからの時代において必要とされるグローバルな視野を持った人材を早期から育成するため、小学校第1学年及び第2学年の生活科20時間を外国語活動に替えて実施する。

4. 地域や学校の特色とその特色を活かして特別の教育課程を編成して教育を行う理由

本市は常陸国一の宮鹿島神宮の門前町として栄え、発展してきた。また、2002年にはFIFAワールドカップの会場地となり、2021年には東京オリンピックサッカー競技が開催された。歴史的伝統とスポーツによる活力あるまちであり、「子どもが元気 香る歴史とスポーツで紡ぐまち 鹿嶋」を本市総合計画における将来像に掲げている。世界の人々とのコミュニケーションをとおして、本市の魅力を世界に発信していくことができるグローバルな人材育成をより一層推進することが、本市の発展と教育活動の充実に必要であると考え、教育課程の特別措置申請を行うこととした。

5. 実施の効果、課題および方向性

(1) 特別の教育課程の編成・実施の効果と手立て

本校では、「学ぶ意欲に満ちた心豊かでたくましい児童の育成」を学校経営の重点とし、第1学年及び第2学年の外国語活動では、以下の効果がみられている。

- ・ Hello. や I' m happy. など、簡単な挨拶表現や英単語が身に付いた。
- ・ 身振りを交えて英語を使うことで、日常生活でも知っている単語や表現を使う児童も見られた。

(2) 課題の改善のための取組の方向性

- ・語彙表や語彙集など、既習の英単語などを記録しておくシートを、ファイルや chrome book で管理できるようにする。
- ・スモールトークのテーマを毎時間設定していたので、安心して取り組めた児童も多かった。既習の表現内容を復習したり、リアクションなどで会話を継続したりできるよう、引き続き指導していく。
- ・日常的に前に出て話すことに抵抗をなくすことを目指して、日々の日直等でも英語で話す場面を意図的に設定してみる。
- ・ALT と積極的にやりとりができるきっかけをつくるために、ALT の空き時間にも可能な限り児童に関われる時間を作る。
- ・オンラインを活用して、他校の児童との交流も広げていく。